

株式会社 北九州輸入促進センター

I 法人の概要 (令和2年4月1日現在)

1 所在地

北九州市小倉北区浅野三丁目8番1号

2 設立年月日

平成5年4月26日

3 代表者

代表取締役社長 淵 義雄

4 資本金

6,600,000 千円

5 北九州市の出資金

1,877,700 千円 (出資の割合 28.5%)

6 役職員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	12 人	0 人	2 人	10 人
常 勤	2 人	0 人	2 人	0 人
非常勤	10 人	0 人	0 人	10 人
職 員	8 人	0 人	2 人	6 人

7 市からのミッション

小倉駅新幹線ロエリアにおけるまちづくりの中核施設として、新たな「ビジネス」「交流」「人材」「モノ」を創出・育成する「はぐくみの拠点AIM」という、市が定めたビルコンセプトに基づいたテナント誘致を行い、健全な経営のもと、AIMビルの管理・運営を行う。

II 令和元年度事業実績

当社は、アジア太平洋インポートマート流通センター棟(AIMビル)の管理・運営実施主体として、国際ビジネスサポート等を目的に、地域の経済活性化や国際化に寄与する以下の事業を行っている。

- ・国際ビジネスのサポートサービス事業
- ・不動産賃貸事業
- ・小倉駅新幹線口地区のにぎわいづくり支援

このような状況の中、事業状況については、一部のテナントが退去したものの、新規テナントの入居や館内企業の移転増床などを達成した。

当期の売上高は1,315,613千円、営業利益263,781千円、経常利益223,259千円、当期純利益は、138,943千円となり、9期連続の黒字を達成し、安定した経営を継続できた。

Ⅲ 令和元年度決算

1 貸借対照表(総括表)

令和2年3月31日現在(単位:円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	640,445,762	流動負債	889,657,719
現金及び預金	601,901,559	短期借入金	533,640,000
未収金	20,123,041	未払金	124,751,378
その他	18,421,162	前受金	76,500,078
		賞与引当金	1,074,198
		未払法人税等	48,172,300
		リース債務	19,975,179
		その他	85,544,586
固定資産	7,612,628,516	固定負債	1,571,018,573
(有形固定資産)	(7,596,889,943)	長期借入金	1,039,374,000
建物	7,586,925,161	退職給付引当金	2,577,667
構築物	2,509,363	預り敷金	405,976,104
車両運搬具	519,446	リース債務	123,090,802
工具器具備品	6,935,973		
(無形固定資産)	(1,019,200)		
電話加入権	1,019,200	負債合計	2,460,676,292
(投資その他の資産)	(14,719,373)	純資産の部	
繰延税金資産	7,922,707	株主資本	5,792,397,986
長期前払費用	6,787,666	資本金	6,600,000,000
その他	9,000	利益剰余金	▲807,602,014
		その他利益剰余金	▲807,602,014
		繰越利益剰余金	▲807,602,014
		純資産合計	5,792,397,986
資産合計	8,253,074,278	負債及び純資産合計	8,253,074,278

2 損益計算書

自 平成 31 年 4 月 1 日

至 令和 2 年 3 月 31 日 (単位：円)

科 目	金 額	
売 上 高		1,315,613,462
売 上 原 価		928,962,812
売 上 総 利 益		386,650,650
販売費及び一般管理費		122,868,670
営 業 利 益		263,781,980
営 業 外 収 益		
雑 収 入	487,956	487,956
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	41,010,753	41,010,753
経 常 利 益		223,259,183
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損	17,092,736	17,092,736
税 引 前 当 期 利 益		206,166,447
法人税、住民税及び事業税	67,280,752	
法人税等調整額	▲58,057	67,222,695
当 期 純 利 益		138,943,752

IV 令和2年度事業計画

(1) 収益の確保

第27期は、レストラン跡地に金融機関が入居したことや館内増床テナントがあり、入居率及び売上高も上昇した。

第28期は、前期後半から世界的に感染拡大が続く新型コロナウイルスの影響で入居率、売上高の減少も考えられるが、テナント誘致を行い収益の確保を目指す。

(2) ビルの適確な維持管理

第27期は、レストラン跡地を事務所区画とするなど貸室整備を進めた。また、設備面では、非常用階段扉を電子錠に替えるなど防災面も改善し、ビル機能の向上に努めた。

第28期は、入居の決まった貸室の整備を引き続き行いながら、経年劣化の著しい設備の更新、また取替時期にきているエスカレーター~~ー~~の更新工事など、設備の改善改良に取り組む。

V 令和2年度予算

予定損益計算書

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日 (単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		1,333,467
売 上 原 価 販売費及び一般管理費		1,103,039
営 業 利 益		230,428
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	0	0
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	29,505	29,505
経 常 利 益		200,922
特 別 利 益	0	0
特 別 損 失	0	0
税 引 前 当 期 損 益		200,922
法 人 税 等	69,650	69,650
当 期 利 益		131,272

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示

VI 役員名簿

令和2年7月1日現在

役職名	氏名	備考
代表取締役社長	淵 義 雄	(株)北九州輸入促進センター
取締役	鮎 川 典 明	北九州市 産業経済局長
〃	岩 永 龍 治	福岡県 商工部長
〃	上 原 賢 治	山九(株) 九州エリア開発営業部長
〃	植 本 敏 紀	(株)上組 門司支店長
〃	笹 渕 賢 一	(株)福岡銀行 北九州本部副本部長
〃	田 坂 良 昭	不二貿易(株) 代表取締役会長
〃	土 井 修	(株)西日本シティ銀行 北九州総本部副本部長
監査役	石 松 秀 喜	(株)北九州輸入促進センター
〃	末 次 隆	西部瓦斯(株) 北九州総務部長
〃	田 邊 雅 一	(株)みずほ銀行 北九州支店長
〃	吉 田 彰 宏	(株)北九州銀行 取締役執行役員